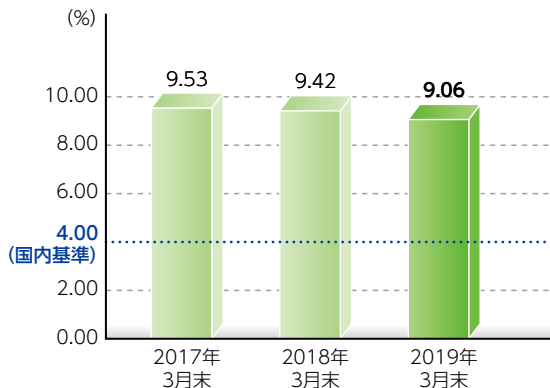


経営の健全性について

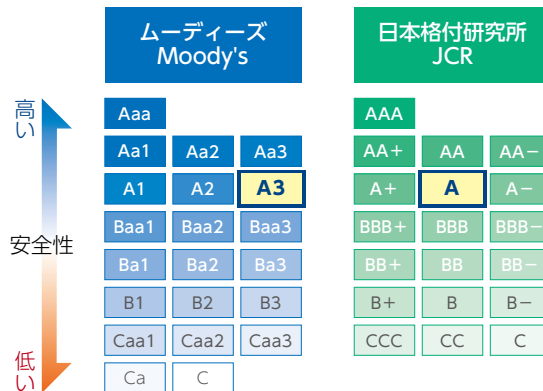
連結自己資本比率の推移

当期末の連結自己資本比率は、資本として算入していた劣後調達100億円の期限前償還をしたことにより、自己資本額が減少したことから、前期末比0.36ポイント低下して9.06%となりましたが、引き続き十分な水準を確保しております。



格付

当行は、ムーディーズ社 (Moody's) から長期預金格付について「A3」を、日本格付研究所 (JCR) から長期発行体格付について「A」の格付を取得し、国内外の格付機関から経営の健全性が評価されています。



(2019年3月31日現在)

金融再生法開示債権の状況

当期末の金融再生法開示債権ベースの不良債権残高は、前期末比27億円増加して518億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.10ポイント上昇して1.80%となりました。

* 金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。

金融再生法開示債権の推移と対応状況(金額単位未満:四捨五入)

